

# オプトアウト

千葉市立青葉病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。  
本研究の対象者に該当する可能性がある方で、診療情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、お問い合わせ下さい。

研究課題 (研究番号)	「FLT3 遺伝子変異を有する再発又は難治性の急性骨髄性白血病患者において、ギルテリチニブが同種造血幹細胞移植後成績に及ぼす影響」研究のためのヒストリカルデータ取得研究
当院の研究責任者 (所属)	小野田 昌弘 (血液内科)
多施設共同研究の場合、主たる研究機関および研究責任者 (所属)	日本造血・免疫細胞療法学会成人急性骨髄性白血病ワーキンググループ 産学連携研究チーム 研究代表者 新井康之 (京都大学医学部附属病院 細胞療法センター・血液内科) 共同研究提案者: アステラス製薬株式会社
研究の目的	「FLT3遺伝子変異を有する再発又は難治性の急性骨髄性白血病患者における、ギルテリチニブが同種造血幹細胞移植後成績に及ぼす影響に関する観察研究 (多施設、非介入、後ろ向き研究)」における比較対象データとして、ギルテリチニブ非使用患者さんの治療成績を取得するための後方視的観察研究です。ギルテリチニブ発売前である、2016年及び2017年に同種造血幹細胞移植を実施された患者さんの治療成績を調査することが目的です。
対象となる調査期間	2019年1月1日から2020年12月31日
対象となる患者様	上記期間に当院で同種造血幹細胞移植を施行したFLT3遺伝子変異を有する再発又は難治性の急性骨髄性白血病患者
使用する情報、試料等 ([○]の項目を利用します)	[ ]血液、[ ]唾液、[ ]毛髪、[ ]病理組織、[ ]排泄物(尿・便)、 [○]診療記録、[○]臨床検査データ、 [ ]その他(空白に記載)
情報や試料の他の研究機関への提供およびその方法	個人情報を削除した上で、上記情報を日本造血細胞移植データセンターへ提供する。
研究期間	研究期間の長の実施の許可日から2025年12月31日まで
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所などの患者様を直接特定できる個人情報は削除致しません。また、研究成果は学会等で発表される予定ですが、その際にも患者様を特定できる個人情報は利用しません。
備考	診療情報や試料等を研究目的に利用されることを希望されない場合でも、診療上不利益な取り扱いを受けることはありません。

申請日 2022年9月22日

入力者 小野田 昌弘

終了日

入力者

試験が終了したら、上記を入力の上事務局までご連絡下さい  
HP掲載を終了します。